

# みんなで取り組む 雪対策のこれから

限られた予算の中で、今後、雪対策を維持していくには、市民の皆さんの協力が欠かせません。ここでは、皆さんと共に取り組む新たな雪対策について紹介します。

去年はこんな地域の悩みを解決しました!

## 地域の悩み ➡ 解決策

「交差点の雪山のせいで見通しが悪く、事故が心配」



除雪回数を減らす代わりに、一部の交差点の雪山を排雪しました

「雪を置く場所がなくて困ってます」



本来、雪を置いてはいけない公園を雪置き場として開放。その代替り雪解け後は、雪と一緒に公園に運ばれたごみの清掃などを地域の方にさせていただきました

「路上駐車が多いので、除雪車が通れず、雪が残ってしまいます」



住民と市職員、場合により警察も合同でパトロールを行い、指導を強化しました

去年は  
186町内会  
が参加

地域と創る  
冬みち事業に  
参加しよう!

## 地域と創る冬みち事業とは?

住宅街の道路の除排雪について、地域住民、除雪事業者、市職員の3者で、問題点などを話し合い、一緒に解決策を考え、地域の実情に応じた取り組みを行うものです。

### 事例 1

北区新琴似一番通東町内会

## 公園を活用して排雪を強化

交差点の雪山が視界を妨げ危険なため、市職員などと話し合い、排雪を強化。取り除いた雪は公園に運ぶようにしました。おかげで交差点の見通しが良くなり、また公園の清掃に50人以上が参加するなど、地域の交流にもつながりました。これからも話し合いを続けて少しずつ課題を解決していきたいですね。



新琴似一番通東町内会会長  
しもだ 新也  
下田 貞廣さん



↑ 住民と市職員が地域を歩き、排雪を強化する場所を確認

### 事例 2

豊平区東月寒東栄町内会

## 木を植え替えて安全な歩道に

雪を積み上げる場所がないため、通学路の歩道が除雪されず、子供たちが車道を歩き危険でした。そこで、隣接する公園の木を植え替え、雪置き場をつくりました。おかげで除雪ができるようになり、子供たちの安全が確保されました。その後、住民が率先して歩道の雪かきを行うなど、地域の除雪意識も高まりましたよ。



↑ 雪置き場をつくるために、みんなで力を合わせて木を植え替えた



東月寒東栄町内会会長  
にわ のぶゆき  
丹羽 信幸さん

## 意見募集!!

今後の雪対策の在り方や新しいアイデアなど、皆さんのご意見をお寄せください。

【応募方法】氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入し、はがき、ファクス、ホームページからお寄せください。ご意見を本誌に掲載させていただく場合がありますので、ご了承ください。掲載させていただいた方には、共通ウイズユーカード(1,100円分)を差し上げます。

【送付先】雪対策室計画課

〒060-8611中央区北1西2 FAX 218-5141

## 市長から



札幌市長 うえだ なほと  
上田 文雄

厳しい財政状況のため、現在の雪対策を維持することは非常に難しくなっています。限られた費用で、皆さんが満足する雪対策を実現するためには、皆さんの協力が不可欠です。共に悩み、考えながら、暮らしやすい冬の札幌を一緒につくっていきましょう。